

議 事 録

会議名	平成28年度第1回寒川町総合計画審議会		
開催日時	平成28年8月10日（水） 午後3時00分から午後4時55分		
開催場所	寒川町民センター3階 講義室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>< 委員 > 山本哲（会長）、細川京三（会長職務代理者）、横手晃、柳下雅子、岸本優、鈴木宏文、藤井明男、牧野ゆり子、千葉保雄、平本正子、島村繁、小笠原チエ子 （欠席者） 太田良勝、鈴木仁、岩崎幸司、飯田治</p> <p>< 事務局 > 企画政策部長：深澤文武、企画政策課長：高橋陽一、企画行革担当副主幹：青木裕昭、企画行革担当主査：吉田史、吉田慎也、三澤忠広、企画行革担当主任主事：赤崎平</p> <p>< 事業担当課 > 総務課長：戸村孝、総務課主幹：関根利和、管財担当主査：杉崎圭太</p> <p>※ 傍聴者2名</p>		
議 題	(1) 寒川町公共施設等総合管理計画について (2) 平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について (3) 平成27年度実施事業の事務事業評価について		
決定事項	議事-(1) 寒川町公共施設等総合管理計画について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 議事-(2) 平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 議事-(3) 平成27年度実施事業の事務事業評価について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開	

	の場を含む)	
議事の経過	<p>○ 開会 議事までの間、深澤部長が司会進行</p> <p>○ 議題（議事進行：山本会長） （山本会長）これより平成28年度第1回総合計画審議会を進めさせていただきますのでご協力お願いします。はじめに議題（1）寒川町公共施設等総合管理計画について事務局より説明をお願いします。</p> <p><事務局・事業担当課から寒川町公共施設等総合管理計画について説明></p> <p>（山本会長）事務局からの説明が終わりました。皆様からご意見ご質問がありましたら、お願いいたします。</p> <p>（鈴木委員）今回の公共施設等白書では、全体の施設・設備と財政関係がよく分かる資料で、いつ頃危機が訪れるかということも明確になっていて非常に分かりやすい資料だと思います。いくつか私としては問題があるのではないのかという部分がありますのでお伺いします。1つは、未来の公共施設の学校関係で、統廃合だと書いてあります。統廃合されると無くなってしまうこともあるわけです。卒業生や外から寒川に住んでみようかという人たちが、この資料を見た時に学校が無くなってしまうという感じを受けると、寒川町に行ってみようと思うけれど、学校が無くなるようなところに行けるのかなというように受け取られるのではないかと思うんです。例えば東中学校の右側のコメントで今の段階で統廃合を打ち出していくことはどうなのかという担当課長の意見がありますけども、私は担当課長の考え方に近い意見を持っています。拙速に学校施設名を挙げて統廃合の対象と打ち出していきのはいかがなものかと思います。そう感じながらこの資料を読むと、これは若手を中心とした作業部会によるものであり、最終決定ではないとなっていて、この資料をどう読んだらいいかが全く分からないんです。これから議論したいということであれば、資料の出し方はいろいろあると思います。例えば短期的には、どういうところを廃止していかなければならないと、学校などを考えるともう少しスパンがあるのではないかと、そうするとある程度近い将来現実化していかなければいけないというものと、もう少し時間をかけながら検討してもいいのではないかと、というものと、まだまだ層別しながら問題を考えて行くことができるのではないかと思うんです。一般的な財政から考えると、統廃合も考えていかなければならないとなると、何年かの長期的スパンの中では考えていかなければ</p>	

ればいけないけれども、具体的にどういうふうに統廃合していくかということ、もう少し議論の余地があると思います。学校の名前を入れて統廃合ということになると全てが結論ありきという資料に思えるので、こういう重大なものを公表していいのかというのが率直な1つの意見です。それから、比較的短いスパンでの設備のあり方というものは、具体的に出してもいいけれども、もう少し時間を掛けるものは大きい枠組みで統廃合もありえるというかたちにして、これから議論しながら進めるとしても十分ではないかと思うんですけれども、この辺についての考え方を伺いたいのでよろしくお願いします。

(事業担当課) 今回は議論過程をオープンにするかたちにしております。今後内部、外部策定委員会で課題等を違った角度から議論をして中間報告を行っていきたくと考えております。実名を出す、出さないの議論もありましたが、作業部会での今後町を背負っていく職員が考えてきた意見を尊重しました。その意見を今違う角度から分析しているところでございます。また、総務省から今年度中に策定するようにとのことで、全国的に当町を含めて6割くらいは策定段階で、自治体によっては、やわらかい計画もあります。寒川町にしてみれば具体的な計画を出そうというところもあります。今後この計画をベースに総合計画も更新してまいりますので、財政推計や社会情勢の変化を鑑みながら詳細な計画に詰めていきたいと考えています。

(鈴木委員) 今回若手の方が検討するプロセスは非常にいいと思います。この重要な事項の分析や検討は非常に力が付くこととなります。ただ、この結果は若手の意見であるとなると、読んだ人が若手は誰かと、こんな意見を言っているのかというようなことが、若手の方に対して向けられるということがあるとすれば、若手の方に対して失礼ではないかという気がするんです。検討案であっても、若手の意見であると突き放すのではなくて、若手の意見を尊重しながら現時点では町としてはオーソライズしているんだという扱いをして、出してあげるのが若手に対する暖かい気持ちではないかなという気がします。

(山本会長) 今の関連なんですけども、作業部会の中で作り上げてこられたものとして、総合管理計画内部策定委員会としてのプロセスであるので、これを若手が出してきたものかというものは違うと思うんです。今後まとめられるところがありますけども、若手の作業部会から内部策定委員会のものとして提出される今後の経過はどのようになりますか。

(事業担当課) スケジュール案にありましたように、若手からバトンタッチを受けまして、内部策定委員会である副町長をトップとした部長等の策定委

員会、その下に関連する施設の課長級の調整会議、その下に若手の作業部会があり、その若手の案を受け止めまして、調整会議と策定委員会で案を練っているところでございます。

(鈴木委員) 若手の方は一生懸命がんばったので、攻撃など受けないように配慮すべきではないかと汲み取っていただきたい。

(柳下委員) 小学校の統廃合では、寒川町はまち・ひと・しごと総合戦略の中で若い世代の人口増を図っているなかで齟齬が生じるのではないかと疑問を持っています。小学校が無くなるようになったらその地域に新たに住もうと思う方は、考えますので、若手世代の人口増に対する戦略の整合性をどう考えているのかが1点です。今後の対策として民間施設等の利用転換の考えはいいかもしれませんが、民間施設があるかどうかという現状を踏まえての提言であるかどうか。解決しなければならない課題点なども併せて公表しますということについて公表されるのでしょうか。必要なところにはお金を出すと書いてありますが、どういう施設に対して金額がいくらなのか、財政シミュレーションのもとで公表される必要があると思います。例えば保育園の3園は、改修は国県の補助金が不明なので分からないなど、不明瞭なことがありますので、具体的なものの公表はいつされるのでしょうか。新たな課題や財政シミュレーションの数字をもって皆さんのご意見を聞くのが適切かなと思いますので、その点についていかがでしょうか。

(事業担当課) 先ほどの小学校の統廃合も含めて、課題を内部策定委員会、調整会議で整理しながら、9月の中間案の中で公表していきたいと思っています。

(事務局) 総合戦略では生産年齢人口を確保し、人口減少に歯止めをかけるというご指摘は、そのとおりでございます。作業部会の中での統廃合という結論については、何も手を打たない場合の人口推計の値を基にしており、東洋大学の基準において人数が下回ってしまうのが、例えば東中学校という推計がでておりますが、この結果については、課長級の会議の中で総合戦略のなかで生産年齢人口を確保していくこととの整合性をどうしていくかという意見は申し上げているところでございます。最終的に町の意見としてオーソライズする時に今の点を含めて結論を出していくように進めてまいります。

(山本会長) 今お話しがあったとおり何も手を付けなければこのような状態になってしまうというなかで、10年後20年後30年後を見た時に町としてどのようにしていくのかを踏まえながら比較していかなければいけないのだろうと思います。前向きな部分を含めて議論していくとより深みのある議論ができると思います。その他ございますか。この件につきまして

ては引き続きこの会議で行われるということによろしいですか。
(事務局) スケジュールの中でも中間案の公表ですとかありますので、機会を捉えて状況の説明をさせていただきます。

(山本会長) その他ご意見がなければ議題(1)につきましては、これで終結をさせていただきますと思います。続きまして議題(2)平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について事務局から説明をお願いします。

<事務局から平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証結果について説明
>

(山本会長) 議題(2)につきまして、事務局からの説明が終わりました。皆様からご質問があれば、お受けしたいと思います。

(島村委員) 観光推進事業についてご意見を言わしていただきたいと思えます。ご説明の中で寒川の魅力を対外的に発信していくと考えているということで、これから取り組みが始まっていくと受け止めました。商工会の事業でも町長からは、もっとにぎわいのある町として発信して全国から観光客が来るような企画を立ててほしいというご要望をいただいております。平成27年度の実績を見ると目標に対して若干下回っていますけど、リーフレットや看板だけではほとんど効果が無い感じがします。さがみ縦貫道路ができていますので、寒川神社が独自に魅力を出している部分で参拝客が増えるということはあっても、寒川町自体の魅力を感じて増えているという実感はありません。2ページ目に東参道構想というのがありますが、観光開発事業というのがどんな魅力が出せるのかというのがポイントではないかと思えます。なかなか花と水と緑だけでは、対外的に多くの観光客を誘致することは難しいと思えます。ここで新しく官民の連携で新プロジェクトの委員会をつくります。検討協議会ではなくて具体的な提案をしていく委員会で費用対効果を考えたうえでの企画を立てて、特に農業、商業が連携をして、新たな寒川町の魅力をつくっていききたいと、外部委員会のまとめ役の商工会では考えています。ここで1点、寒川町で全国1位という魅力があるものがあります。寒川岡田の縄文遺跡という全国でも最大規模の住居跡があります。寒川に住んでおりますけども縄文の遺跡というものにピンとこなかったんですけども、縄文の遺跡を見学したりしながら、現状で寒川の縄文文化の魅力づくりをして発信をしているかと考えた時に、ほとんど発信していないも同然で宝が埋もれている現状があります。この辺も新プロジェクトの委員会の中で、縄文の里寒川というネームブランディングで町民の方や全国に発信していくつもりで、魅力づくりの1つとし

て考えて行きたいと思っております。27年度までの状況を見ますと、寒川の現状を継承しているだけと感じますので、町とも一緒になって取り組んで行きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(事務局) 今、委員からありました新たなプロジェクトについては、町長から関わりを持たせていただく予定と聞いております。今お話をいただいたように提案をいただけるということもございますので、町としてすべきことを進めてまいります。また、従来から町の内部組織としても寒川神社を核とした観光拠点のプロジェクトチームがありますので、その中でもやるべきことを取り組んでまいりたいと思っております。無いもの探しをするのではなく、委員からお話をいただいたように、まだ埋もれているものがあるということから、あるものを掘り起こして良さを知っていただくという考え方を基本に、総合戦略の中でも、寒川を知ってもらって新しい人の流れをつくり出すという目標の中で、観光振興推進事業を位置付けておりますので、先日の外部委員会でもいろいろなことを単発で行うのではなくて、有機的に総合的に進めていかない限りKPIの目標値を達成することは、厳しいのではないかとのご意見もいただいておりますので、ご意見も踏まえながら取り組んでまいりたいと考えています。

(島村委員) 1点情報として皆さんにお話ししたいんですけども、7月初めに縄文文化の魅力を世界に発信する官民組織を設立し、國學院大學名誉教授の小林達雄氏、津川雅彦氏など官と考古学者等が組織の一員となって、世界に向けて発信するサポーターズクラブというものができました。特に行政がそこに加わろうと思えば加わって、寒川の場合は全国でも最大規模の遺跡がありますので、先ほどのプロジェクトチームでも提案してまいりますけど、サポーターズクラブの中に入って情報交換をし、寒川の素晴らしさも情報発信していければと思います。新しい組織ができてきて縄文文化が少し脚光を浴び始めて、それを利用しない手はないと思います。

(事務局) 今お話しいただきました新たな観光拠点については、町長から参画に向けた検討の指示を受けているところでございます。ご提案いただく内容を検討するにあたって、今ある資源をどう活用できるのか、また、行うにあたっては投資効果、費用対効果を見定めながらどういったことができるのか、官だけで行っても意味がないもので、民間主導でどういったことが行えるのか検討できればと考えています。

(柳下委員) 寒川神社の資料館の学芸員の方にも、寒川町全てが史跡だらけの町だということを伺っております。町としては戦略として、単発的にただの発信ではなくて、一之宮小学校にある誰も足を運ばないような所に資料を置いておくのではなく、町の遺産資料としてどこかで公表したり、史跡

の知識を持って講座を開いてご案内できるようにしたり、戦略として1つのことだけでなく、どうつなぎ合わせて寒川町がいかに関与的だということ移住先となるように、言葉でなくて具体を町がどう繋げていくかというのは、情報を一番掴んでいる町の職員の力量に係ってくると思います。そういう働き掛けをプロジェクトチームでどんどんやっていただければ、寒川町がこれから生き延びて、魅力ある町として全国発信できるかという非常にいい例になると思います。

(横手委員) 縄文のキーワードに今の技術やアイデアとうまく融合させていたきたい。ポケモンGOがはやっていますが、ARオーグメンテッドリアリティ拡張現実といって、スマホをかざすとポケモンが出てきてゲットできるようになっています。例えばスマートフォンをかざすと、昔の縄文時代の世界が見えるような、最新のデバイスと古いものをうまく融合させて、アイデアを人としてベテランからルーキーまで一緒になって作っていくべきだと思います。着眼点がおもしろいだけに、どちらかに偏らないで融合させて全国に発信できる、全国に無いものにしていくべきだと思います。

(事務局) 委員からありましたARといったICTの普及がかなり進んでいる状況のなかで、今ある資源を新しい技術で包み込むとどう見えるのか、どう発信するかをターゲットを明確にししながら、今年度行っているプロモーション戦略のなかで、いろいろなところを有機的に結び寒川町とは何かという戦略的なインパクトをどうつくるかが大切だと思いますので、AR技術などのご意見を伺いながら進められればと思います。

(山本会長) その他ございますか。それでは、以上をもちまして議題(2)については、これにて終結をさせていただきます。続きまして議題(3)平成27年度実施事業の事務事業評価について事務局から説明をお願いします。

<事務局から平成27年度実施事業の事務事業評価について説明>

(山本会長) 議題(3)につきまして、事務局からの説明が終わりました。皆様からご質問があれば、お受けしたいと思います。

(千葉委員) 全体の事業が240ありますが、この中の30が下の方になっています。見直しについてある程度効果の無いものを続けるのではなく、これ以外の予算に振り向けることも含めて、見切りを付けることについてどのようにお考えでしょうか。

(事務局) 事務事業評価結果では、29年度概算要求の中で所管課と企画部門でヒアリングを行っております。評価が芳しくないものについては、原因が

どういふところにあるのかを確認し、明らかに必要性が無いものや手段が適切ではないと判断した場合は、計画にあるからやり続けるのではなく、やめるものはやめて、財源を振り替えていくという考え方を進めておきます。

(島村委員) 確認ですが、25ページの寒川駅北口地区土地区画整理事業で字が小さくて目標値と実績値が読めないのどういった数字が入っているのか教えてください。

(事務局) 平成27年度の目標値として、工事完了100%と表記しております。27年度実績値が、工事完了98%と表記しております。右側の事業効果は、27年度の目標値は、整備済面積9.9ha、実績値9.7haでございます。

(島村委員) 有効性Bの理由は何ですか。

(事務局) 事業目標の区分が100%未満のものについてはA評価が付かない基準となっております。

(柳下委員) 後期基本計画の27年度の歳入の事業費が142億円ですが、結果的に27年度の実施事業費はいくらですか。

(事務局) 27年度の決算額のトータルの資料を持ち合わせておりませんので決算額はお答えができません。予算額としましては、財政計画上137億4600万円の予算額でスタートしております。

(柳下委員) 後期基本計画の財政推計によると27年度の歳入総額が142億円ですが、この事業費でどれだけの効果があったのかという点で、事業費の137億4600万円との差がでていますが、少なくなったにもかかわらず住民サービスが行き届いたかどうかという評価が見えないのでお尋ねします。

(事務局) 後期基本計画を策定した時の財政計画上の平成27年度計画額は142億円でした。その後、経済状況も踏まえまして第2次の実施計画策定時に作り直した財政計画上の予算額については、137億4600万円が組み直した数字であり、当初立てた計画額からは見直した数字になっております。事業の結果としては、AからZまで指標の実績値に基づいて出したところ、大半は計画どおり進められましたが、その中の一部については、目論見どおり進められなかったため、ヒアリング等を通じて見直しを図るように所管課に指示を出している状況であります。

(山本会長) その他ございますか。それでは、以上をもちまして議題(3)については、これにて終結をさせていただきます。本日の議題につきましては、すべて終了となりました。その他でございますが事務局よりお願いします。

(事務局) 事務局より1点、事務連絡としまして、次回の審議会開催予定についてお知らせさせていただきます。次回の当審議会は、11月の中下旬に開

	<p>催を予定しております。予定議題としましては、平成29年度の当初予算編成状況と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組状況等を想定しております。詳しい日程等につきましては、追ってご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。</p> <p>(鈴木委員) 総合管理計画で、変わっている状況がありましたら、テーマに入れていただいております。お話を聞かせていただきたいです。</p> <p>(事務局) 総務課と調整させていただきます。</p> <p>(山本会長) それではその他ないようでしたら、終結をさせていただきます。本日は委員の皆様のご協力により円滑に議事を進行することができました。誠にありがとうございました。</p> <p>○閉会</p>
<p>配付資料</p>	<p>○寒川町公共施設等白書【概要版】</p> <p>○未来の公共施設ニュース第4号</p> <p>○公共施設等総合管理計画策定までのプロセスイメージ</p> <p>○未来の公共施設ニュース第7号</p> <p>○公共施設等総合管理計画策定全体スケジュール（進行状況）</p> <p>資料番号2：寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み点検シート</p> <p>資料番号3-1：寒川町総合計画「さむかわ2020プラン」後期基本計画第2次実施計画（平成27年度～29年度）について</p> <p>資料番号3-2：第2次実施計画体系図（平成28年4月1日現在）</p> <p>資料番号3-3：平成28年度寒川町総合計画後期基本計画事務事業評価結果</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>山本 哲（平成28年10月7日確定）</p>